

平成29年度 提案型公共サービス民営化制度審査会での審査結果一覧表

No.	事業名	担当課	提案概要	提案の採否	審査結果	提案者
1	小中学校コンピュータ教育の推進	指導課	<p>●事業計画の見直し リース延長や機器の転用などの工夫で契約を集約し、「サービス提供型」で契約稼働を軽減する。</p> <p>●システムのセンター化 学校現場には極力クライアント端末だけにし、運用の負担を軽減。</p> <p>●運用・保守体制の見直し ヘルプデスク対応を洗い出し機器調達とサポートの在り方を最適化。</p> <p>●教育ネットワーク分離 校務系と教育系ネットワークを分離し、セキュリティレベルの高いネットワークを構築する。 中長期的視点で全体最適化を図るシステムの構築が可能であり、学校のICTを一元運用することで先生が子どもたちに向き合う時間が確保される。また、国・県の方針に沿ったセキュリティ環境が提供できる。 期間を5年間とする提案。</p>	○	<p>提案者は、現状のICT環境（ネットワーク・端末・ソフト・サポート面）について学校現場の声、要望を聞き具体的な提案をしている。 回線から端末まで一元的に運用保守を単独で行うことが可能という提案者の唯一無二の独自性といえる。</p> <p>ハードウェアに依らない中立的な立場で、最適な製品を選定し、システムインテグレーターとしてコンサルティングから、設計、運用、保守までの全工程を一貫して担える能力を有している。 運用保守の一元化をすることで、トータルコストの削減を実現し、端末の故障やネットワークトラブルにも迅速に対応できるなど、我孫子市の子どもたちの利益につながる提案である。また、災害や防災業務等、地域密着した活動にも活用可能である。</p>	東日本電信電話株式会社

2	公共施設等包括管理業務	施設管理課	<p>●設備機器台帳の作成 今まで実施してきた包括管理手法を継続するだけでなく、現在実施している94施設すべてについて、各施設の設備機器情報(機器の名称・型式・メーカー名・設置場所等を記載した設備機器台帳を作成し、包括管理業務に活かす。 平成30年4月から調査を開始し、成果物を平成33年3月末に提出する。</p> <p>●リスクベースマネジメントへの対応 RBM(リスクベースマネジメント)は、管理対象施設に障害が発生した場合に複数の選択肢を選定し、将来の利用可能性や重要性等に依りて「更新」「耐用年数まで使用」「長寿命化する」などクラス分けをし、それぞれの対処方法を明確化し、全コストの最小化を図る考え方です。 RBMの準備作業として、具体的な施設を1施設取り上げて、 ①耐用年数到来時まで全うできるような水準のマネジメント ②耐用年数到来時より10~20年後まで使用できるような水準の長寿命化マネジメント の2種類に分けて、対応にどのような差が生じるかを提案します。</p>	○	<p>設備機器情報調査を基に、「設備機器台帳」を作成することは、今後の固定資産台帳作成のために必要である。 台帳作成には、設備機器情報の把握が必須であり、台帳作成は全国の中でも先駆けの取り組みである。これを一から調査するには相当の経費が必要になるが、包括管理業務の中の巡回点検の中で賄えるのであれば、コスト面においても、市にとって有利な提案である。 また、RBM(リスクベースマネジメント)への対応は公共施設の保全計画には必要なものであり、実践例としては、全国で初めての取り組みである。</p>	大成有楽不動産(株)千葉支店
---	-------------	-------	---	---	---	----------------

3	<p>子どもの居場所づくり 学童保育室の運営</p>	<p>子ども支援課</p>	<p>第二小、新木小の学童保育室とあびっ子クラブの運営を受託する。 第二小は、平成30年度から32年度までの3年間、新木小は平成31年度から平成33年度までの受託とする。 既に委託している根戸小学童保育室・あびっ子クラブと同様のサービス提供のほか健全育成プログラム、学習支援、生活支援、延長保育等のサービス向上、人材の確保、研修、個人情報保護、衛生管理、児童の健康管理、危機管理、苦情への対応、オープンまでのスケジュール管理を行う。学習支援として「自主学習」「グループワーク」「サークル活動」を骨子とする。</p> <p>【 自主学習 】 宿題のチェック、個別指導、読書の促進</p> <p>【 グループワーク 】 自発力、先導力の養成、グループディスカッション、ゲーム</p> <p>【 サークル活動 】 興味の探索、協調性の向上</p>	○	<p>我孫子での実績を基に運営能力の確証が得られており、高学年向けプログラムにも実績がある。 また、プログラムの立案も個々の保育士等の能力に頼る公の施設に対し、全国展開している実績のノウハウ、組織的バックアップが可能。根戸小学童保育・あびっ子クラブの委託と同様、サービスの向上、コストの削減につながる提案である。</p>	<p>シダックス大新東ヒューマンサービス(株)</p>
---	--------------------------------	---------------	--	---	--	-----------------------------

4	子どもの居場所づくり 学童保育室の運営	子ども支援課	<p>第四小の学童保育室とあびっ子クラブの運営を受託する。平成30年度から平成32年度までの3年間とする。これまでと同様、事故・不審者・インフルエンザ等への危機管理、外部講師による「体験活動」保育コンサルタントによる巡回、保護者負担の軽減、要員の確保、研修、関係機関との交流に加え、新たにサタディスクール（預かるだけの保育ではなく、補習活動の時間を十分に設け、自主活動の時間を確保する）を開設し、運動系や学び系の特別教室を充実する。</p>	○	<p>サタディスクール等、学習メインの取り組みは先進的であり県内初である。保護者へのアンケートを実施し要望を調査し、反映させる手法も市にとっては、プラスの取り組みである。併せてコスト削減もメリットである。</p>	(株) アンフィニ
---	------------------------	--------	--	---	--	-----------

5	<p>けやきプラザ11階の施設運営</p>	<p>市民活動支援課</p>	<p>けやきプラザ11階のフリースペースにシェアオフィスを設け、テレワークの基地とする。同時に若者有志達が集って議論し企業する場所と便宜を提供する。結婚相談所や従来からのフリースペースの場も極力維持し継続する。</p>	<p>×</p>	<p>特定の事業者による収益事業のため、応分の共益費や清掃委託料を支払っていただくことが相応である。 また、利用者が固定化される懸念が有るため、公共性、公益性に課題がある。</p>	<p>企業</p>
6	<p>けやきプラザ11階の施設運営 市民公益活動に関する情報発信</p>	<p>市民活動支援課</p>	<p>けやきプラザ11階の利用は従来どおりとする。 市民公益活動に関する情報発信場所として11階厨房の隣のスペースを確保し、その場所で情報発信と施設の管理運営を行う。 将来的には、(仮称)我孫子まちづくり会議のような市民のゆるやかなネットワーク組織を育てたい。 また、3年間のグラウンドデザインとして、活動実践者の交流カフェサロン、支え合いの輪、我孫子の夢を語り合う市民大会を開催する。</p>	<p>×</p>	<p>独自性が見当たらない。個人への市民活動に関する情報発信を行うとしているが、その内容が明確でない。</p>	<p>団体</p>